

科目名: 人間関係を学ぶ心理学		科目コード	FD21	
科目主査: 末崎 裕康		担当講師: 高田 靖子、末崎 裕康	単位	2
			配当年次	1
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	カメラ・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 望ましい <input checked="" type="checkbox"/> 不要	
<p>本科目は、心理学の研究分野の中でも、特に人間関係に関する事柄を扱います。人間関係の基礎としてパーソナリティ、人間関係を動かすものとして動機づけとフラストレーション、そして、発達段階に応じた人間関係の発達、人間関係の始まりとして「自己」や「対人認知」、人間関係の展開として「態度」や「援助」、職場と社会の人間関係、人間関係の障害と改善、および治療について理解を深めます。</p>				
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:		
履修の前提となる知識 その他特記事項	特に4章と5章を読み、これまで自身が築いてきた人間関係を振り返り①関係を築く上での癖を振り返る②テキストから得た知識によって新たに気付いたことを考察しましょう。キーワードの理解を深めておきましょう。			
テキスト	『人間関係を学ぶ心理学』杉野 欽吾 他, 福村出版, 1999年			
この科目の到達目標	<p>①人間関係に関わる心理学的理論の特色を指摘でき、実証的研究の事例を示しながら説明ができる。</p> <p>②人間関係に関わる身近で具体的な経験と照らし合わせながら、問題点を心理的観点から論理的に観察できる。</p>			
成績評価の方法	出題範囲・出題形式に関しては授業初日に説明します。			
事後学習	スクーリングで学んだ知識を自分のものとして日常の人間関係に活かせるようになるために、場面に応じて学んだことを反復しフィードバックを行うこと。			
事後学習の参考文献	『ワークショップ 人間関係の心理学』藤本 忠明/東 正訓, ナカニシヤ出版, 2004年			
スクーリング受講時に用意するもの				
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具				